

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.3.5 No.256 連絡先 FAX 042-555-1911



ハワイ墜落事故米兵遺族 オスプレイ製造社を 提訴する計画を立てる

2月24日配信の琉球新報によると、昨年5月にハワイで起きた米海兵隊MV 22 オスプレイの墜落事故で死亡した海兵隊員の父親が、機体を製造するボーイング社などを相手に提訴する計画を立てていると、米海兵隊専門紙「マリンコータイムズ」が21日電子版で報じたと伝えています。父親は同紙に対し「砂ぼこりがエンジンに吸い込まれるため、オスプレイが安全に飛行できないということを証拠が示している」と、製造会社提訴の理由を説明しています。(右:ハワイ オスプレイ事故)



提訴を計画しているのは、事故で死亡したマット・デターマン上等兵の父マイク・デターマンさん。マイクさんは「兵士に最善な装備を提供されることは当然だ。この航空機は最善から程遠い」と強調しています。事故では2人の乗組員が死亡したほか、20人がけがをしました。

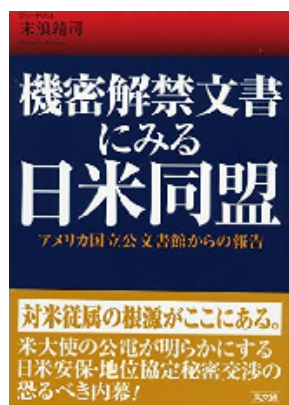
米海軍オスプレイCMV-22Bを C-2A後継機として日本に配備

乗りものニュース(2月20日配信)によると、米海軍は2016年2月3日、44機を2020年より導入する予定である海軍型のV-22オスプレイに、新たにCMV-22Bという名称を与えたと発表しました。

右の写真は、2月25日、横田基地でタッチアンドゴーをした艦上輸送機C-2Aです。C-2Aは、在日米海軍・厚木基地所属で、原子力空母ロナルド・レーガンが出航している時は、空母と陸上基地間の輸送を担います。



C-2A艦上輸送機の後継機として、海軍型オスプレイは、2015年に導入が決定されていました。CMV-22Bは、横須賀を母港とする空母ロナルド・レーガンの第5空母航空団を支援するため、日本にも配備される見込みです。日本は、普天間基地に米海兵隊のMV-22Bが24機配備され、横田基地には米空軍のCV-22Bが10機配備される予定です。陸上自衛隊が17機を導入します。日本を、「オスプレイ大国」にしてはなりません。オスプレイの配備・飛行を止めさせよう！



末浪靖司著『機密解禁文書にみる日米同盟』を読もう！

アメリカの公文書館に通い日米同盟の深い闇を暴いた本書を推薦します。米軍横田基地に米軍再編予算で施設が次々建設されるのを、当時、日米合同委員会合意について(防衛省HP)を頻繁に見ていて、結果だけが知らされる理不尽さに憤りを感じていました。この本は、日米合同委員会が戦後のアメリカ占領時代から受け継がれたものであることを詳しく解明しています。また、日米同盟とは軍事同盟のことなので、戦争しない憲法のある日本では禁句だったのが、なぜ、使われるようになったのか、など興味ある内容がいっぱいです。目次は、I章 法治国家崩壊のカラクリ II章 トリックで作られた基地管理権 III章 米軍は地球上のどこにも出撃する IV章 海外派兵をめぐる攻防 です。

防衛大臣、2月23日横田基地・24日国産ステルス機試験視察 (No. 256 裏面)

中谷防衛大臣は2月23日の横田基地視察に続き、24日は愛知県を訪れ、国産初となるステルス試作機の県営名古屋空港での地上滑走試験を視察しました。この試作機は防衛省の発注により三菱重工などが製造しました。空港に隣接する三菱重工の工場も訪問。ここにはF-35 戦闘機の組立拠点があります。



右写真（米軍 HP）は23日、横田基地に降り立ち、出迎えたドーラン第5空軍兼在日米軍司令官とレッドカーペットを進む中谷防衛大臣です。この日、中谷大臣は、横田基地に隣接するF-35のエンジン工場IHIを訪問しなかったのでしょうか。

F-35ステルス戦闘機 3170機も製造する巨大プロジェクト

アメリカ	2443	防衛省からの資料に基づき共産党本村伸子事務所が作成した資料によると、F-35については現時点で各国により左記の取得が予定されています。このうち、アメリカはF-35B/Cが680機、イギリスはF-35Bが138機、イタリアはF-35Bが30機が含まれます。他はすべてF-35Aです。 (F-35Aは基本型、F-35Bは垂直着陸機、F-35Cは空母艦載機型。) 下図はALGSの防衛省イメージ図。アメリカの一元管理の元で、全てのF-35戦闘機ユーザー国が世界規模で部品などを融通し合うシステムです。
イギリス	138	
イタリア	90	
オランダ	37	
トルコ	100	
オーストラリア	100	
ノルウェー	52	
デンマーク	30	
カナダ	65	
イスラエル	33	

韓国	40
日本	42
計	3170



米国防総省 CVオスプレイ横田配備に伴う施設建設費を初めて計上

米国防総省は9日（日本時間10日）に公表した2017米会計年度国防予算案に、米空軍横田基地への特殊作戦機CV22オスプレイ配備に伴う施設建設費を初めて計上しました。

予算案によれば、(1)駐機場(2)格納庫(3)運用・貯蔵施設(4)シミュレーター—の4項目を計上。各施設によって期日のずれがありますが、おおむね、今年10月までに設計を終え、2017年から19年10月までを工期にしています。予算案は、米特殊作戦軍の軍事建設関連経費として計上されています。CV22オスプレイ関連予算は、21年度まで計上する計画です。

辺野古新基地建設 沖縄抵抗で「著しい遅れ」米議会調査局が報告書

日米両政府は普天間基地の「2022年度返還」を目標にしていますが、23日の米上院軍事委員会で、ハリス太平洋軍司令官が名護市や住民の抵抗により工事完了が25年まで遅れると証言しました。米議会調査局の報告書（9日付）も「著しい遅れをもたらしている」と述べています。法廷闘争が幕を開けた、計画を進めるにはさらなる政治的資源の投入が必要だが、強硬手段はさらなる反基地感情を生み出す危険がある、と指摘しています。

* 「東京・米軍横田基地、変貌」（2月22日付赤旗）が共産党HP「2014-16特報・論点」に掲載されました。

* 2月29日、米軍横田基地所属のUH-1Nヘリが調布飛行場に緊急着陸。UH-1Nヘリについては次号に掲載。